

CJV200 series

CJV200-160

Mimaki



JFX200-1213 EX

JFX200-1213 EX

TSB30-3200 DS



Mimaki

TXF300-1600

TXF300-1600

Mimaki V10

会社説明資料

2024年12月15日

株式会社 ミマキエンジニアリング

常務取締役 清水 浩司



証券コード
6638

本資料でお伝えしたいこと

- ❖ 会社概要 / 事業概要
- ❖ 各市場の概要とシェア
- ❖ ビジネスモデルと新しい技術
- ❖ 市場における当社の優位性
- ❖ 中長期成長戦略「Mimaki V10」の進捗
- ❖ 株主還元

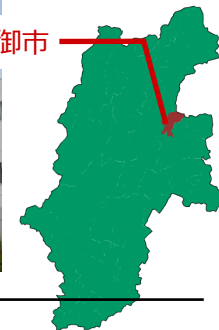
会社概要



設立	1975年8月	資本金	4,357百万円
本社	長野県東御市滋野乙2182-3		
代表者	代表取締役社長 池田 和明		
従業員数	連結：2,104名 / 単体：897名 ※2024年9月末現在		
上場市場	東京証券取引所 プライム市場 / 証券コード 6638		
発行済株式総数	32,040,000株 (単元株 = 100株) ※2024年9月末現在		



長野県東御市

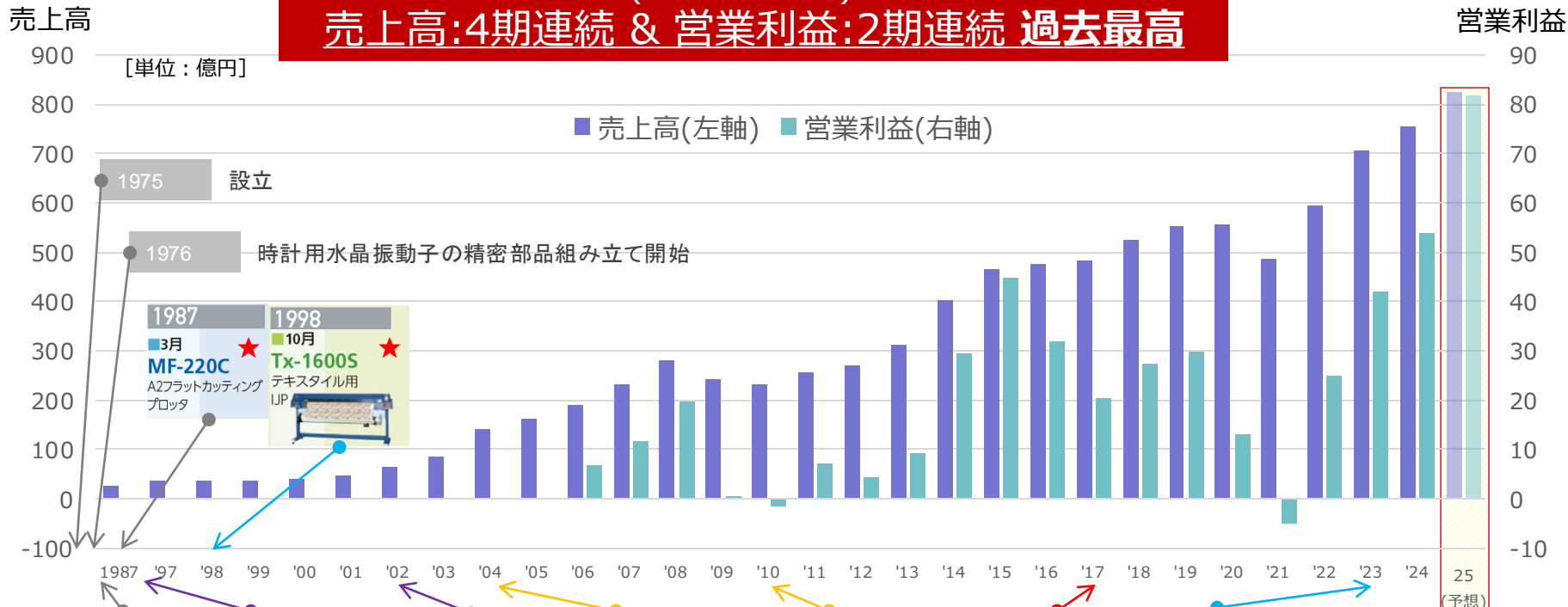


▼ グループ会社 (総計29社)

産業用インクジェットプリンタ関連 (計21社)	販売関連 : 14社	欧州	ミマキEUROPE(オランダ) *、ミマキドイツ、ミマキEURASIA(トルコ)、ミマキBompan(イタリア) (*製造事業も展開)
		北米、中南米	ミマキUSA、ミマキブラジル
		アジア・オセアニア	上海御牧、ミマキインドネシア、ミマキシンガポール、ミマキオーストラリア、ミマキインド、台湾御牧*、ミマキタイランド (*製造事業も展開)、ミマキベトナム(2023年6月設立)
	開発、製造関連 : 7社	国内	(株)ミマキプレジジョン
		欧州	ミマキEUROPE、ミマキLM(イタリア)、ミマキリトアニア
		中国	浙江御牧、平湖御牧
		台湾	台湾御牧
プリントサービス関連 (計2社)	国内	(株)グラフィッククリエーション、(株)楽日	
アルファードesignグループ (計5社)	開発、製造関連 : 2社	国内	アルファードesign(株)*、(株)アルファードシステムズ* (*販売も行う)
	販売関連 : 2社	中国	大連阿爾法設計有限公司、阿爾法自動化技術有限公司
	金属加工関連 : 1社	国内	(株)砺波製作所
ソフトウェア開発関連 (計1社)	国内	(株)マイクロテック	

沿革と業績

今期(2025年3月期)予想は
売上高:4期連続 & 営業利益:2期連続 過去最高



1985 2月 MF-120 A2フラットペンプロッタ[北斎]

1987 3月 MF-220C A2フラットカッティングプロッタ

1996 10月 JV-1300 水性顔料インクフルカラー IJP

2002 9月 JV3-130S/160S ソルベント IJP

2004 3月 UJF-605C フラットベッド UV硬化 IJP

2010 2月 UJF-3042 LED-UV方式フラットベッド IJP

2017 11月 3DUJ-553 世界初1,000万色以上のフルカラー造形LED-UV方式 3Dプリンタ

2023 4月 TxF150-75 ミマキ初 DTFプリンタ

2023 6月 Tiger600-1800TS ミマキ最速昇華転写用 IJP

★: 世界初

1

独自技術を保有し、自社ブランド製品を世界に供給する
「開発型企业」を目指します。

2

顧客に満足いただける製品を素早く提供する
小回りの利いた会社を目指します。

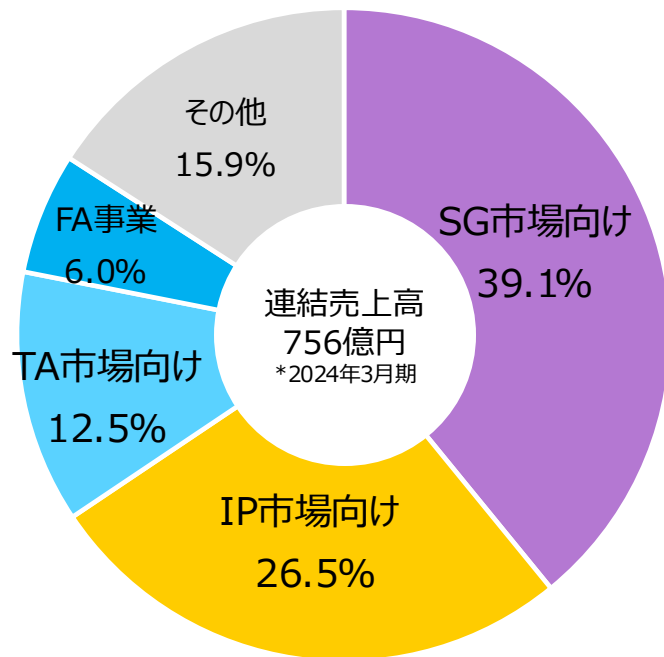
3

市場に常に「新しさと違い」を提供するイノベーターを
目指します。

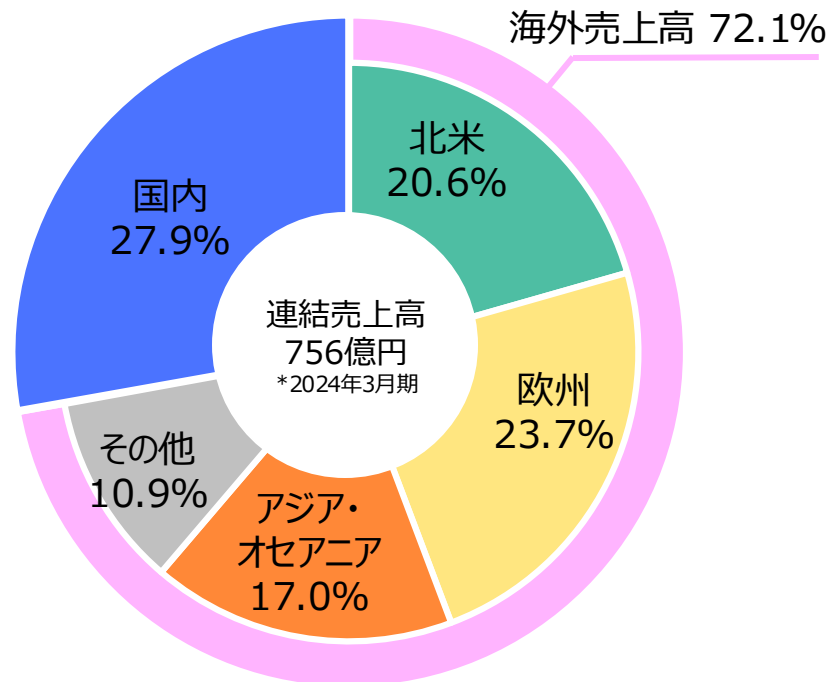
4

各人が持っている個性・能力を力一杯発揮できる
企業風土を目指します。

4つの販売市場でグローバルに事業展開



4つの販売市場



グローバル展開

A large, purple, glossy circle with a white highlight at the top, centered on a light gray background. Inside the circle, the text "SG市場" is written in white, bold, sans-serif font, with "Sign Graphics" written below it in a smaller, white, sans-serif font.

SG市場
Sign Graphics

SG

サイン グラフィックス Sign Graphics

大型ポスター、カーラッピング、のぼり旗、表示板といった広告・看板等、街を彩るビジネスシーンで活躍している当社の主力製品群。

活用事例



主なプリント素材

- ・塩ビシート
- ・バナーシート
- ・ウィンドウフィルムなど

◆街を彩るビジネスシーンでの活用事例



電飾看板



案内看板 (MWC S)



ウィンドウサイン



壁紙サイン



アスファルト

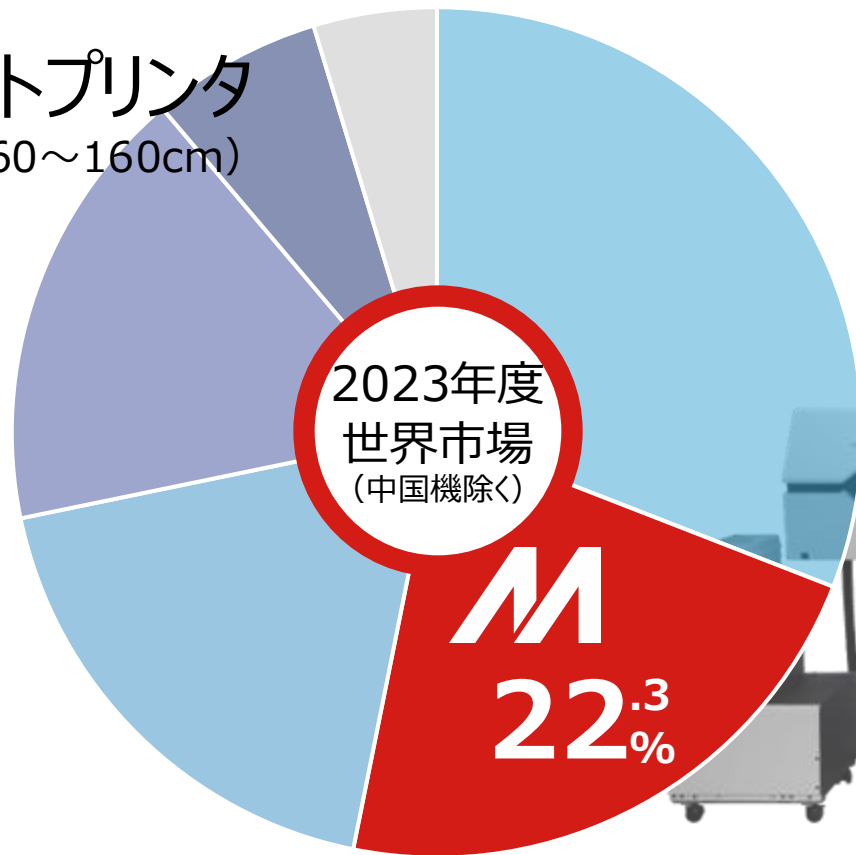


カーラッピング

サイングラフィックス市場向け

大判インクジェットプリンタ

24～64インチ（60～160cm）



2023年度
世界市場
(中国機除く)

M
22.3%





IP

インダストリアル プロダクツ

Industrial Products

自動車の計器パネルや家電類の操作パネル等の工業製品のほか、一般消費者向けのギフトやノベルティ、オーダーグッズ等の生産現場等で使用されている製品群。

活用事例



主なプリント素材

- ・プラスチック
- ・アクリル
- ・ガラス
- ・金属
- ・木材など

◆ 工業製品やノベルティ等での活用事例



スマートフォンケース



フロアガイド



ホビー



アクリルキーホルダー



腕時計 (バンド)



メンブレンスイッチ



ブレーキ



スピードメーター

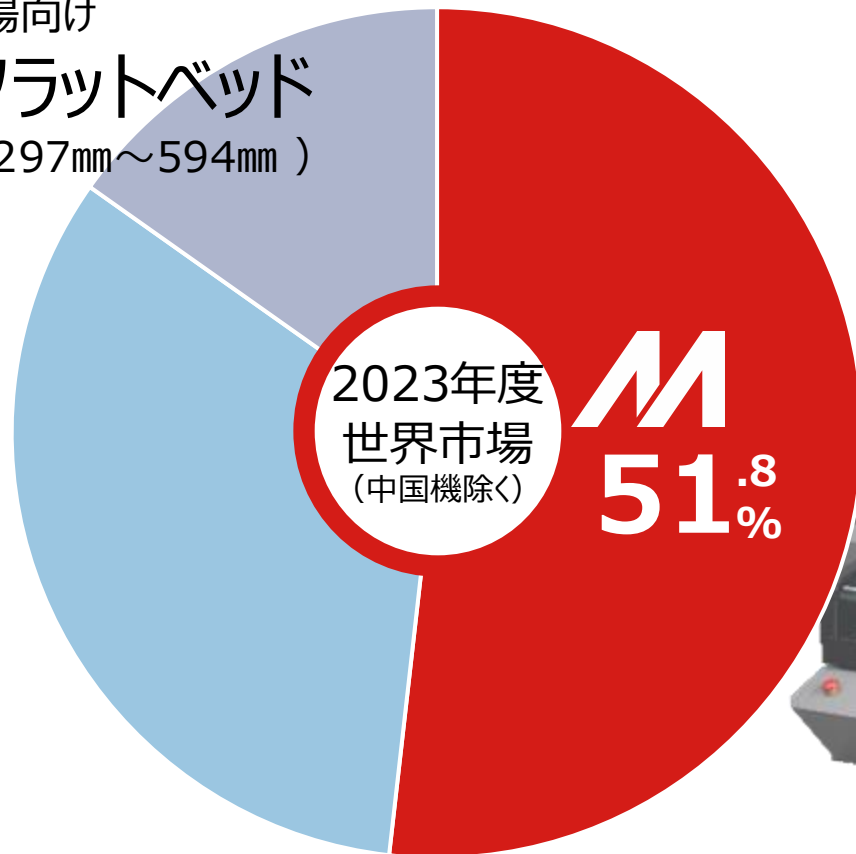


クリスタルトロフィー



紙器パッケージ

インダストリアルプロダクツ市場向け
デスクトップUVフラットベッド
A3~A2 (420mm x 297mm~594mm)



3D

3Dプリンタ

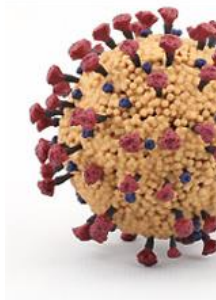
3D Printer

1,000万色以上のフルカラー造形から、高さ1.8mまでの超大型造形まで3Dプリンタによりプロダクトデザインやフィギュア、立体看板で活用されている製品群。

活用事例



研究・医療



建築・設計



試作・見本



3DUJ-553



3DUJ-2207

A large blue circle with a white highlight at the top, containing the text "TA市場" and "Textile & Apparel".

TA市場
Textile & Apparel

TA

テキスタイル・ アパレル

Textile & Apparel

裁断・縫製加工前の生地
や既製服などファスト
ファッション・スポーツ
ウェア業界のほか、ファ
ニチャー業界で拡大して
いる製品群。



活用事例



主なプリント素材

- ・ポリエステル
- ・レーヨン
- ・綿
- ・絹
- ・合成皮革など



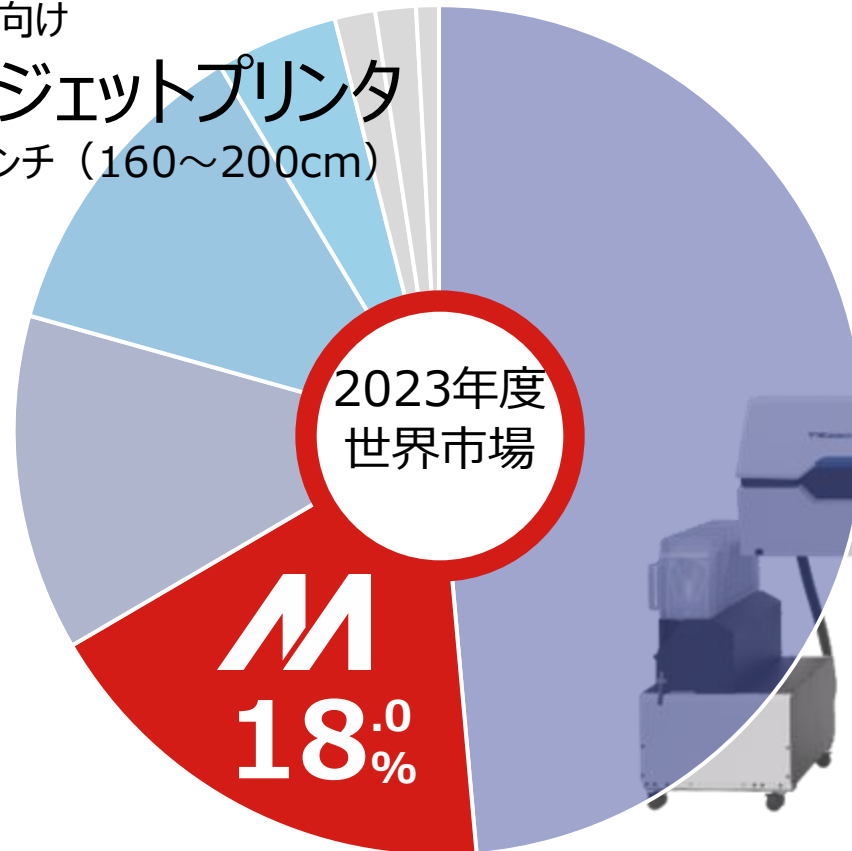
- ◆ 裁断・縫製加工前の生地や既製服、インテリアなどでの活用事例



テキスタイル&アパレル市場向け

昇華転写インクジェットプリンタ

64~78インチ (160~200cm)

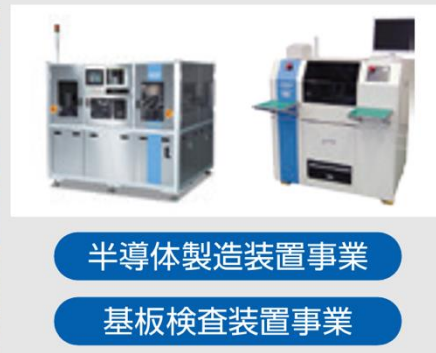


FA

ファクトリー オートメーション

Factory Automation

ベクター技術、メカトロニクス技術をもとに5つの事業を展開。オンデマンド型のデジタルコーティングマシンで印刷からコーティングまで生産工程の全自動化にも対応。



紙以外への
印刷



産業用

紙への印刷



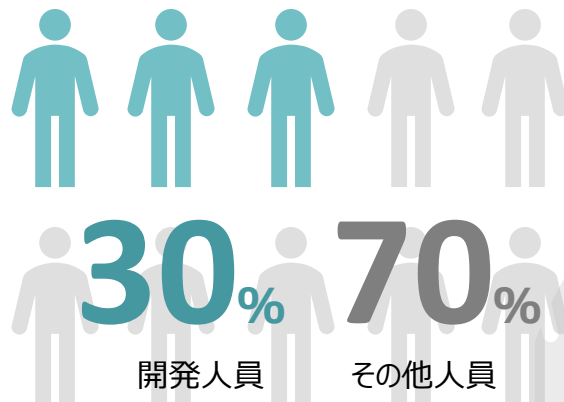
家庭用

オフィス用



商業用

ビジネスモデル（開発投資 / 人材投資）

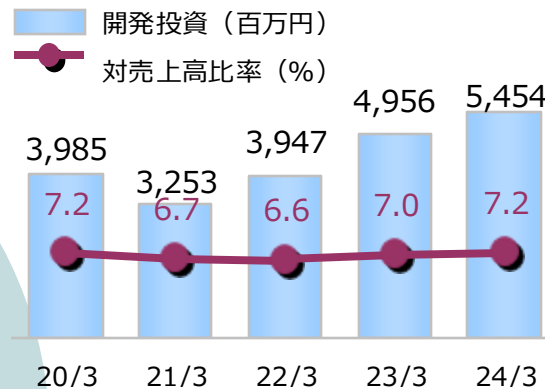


開発型企業を目指す当社は
人員の30%以上が開発人員

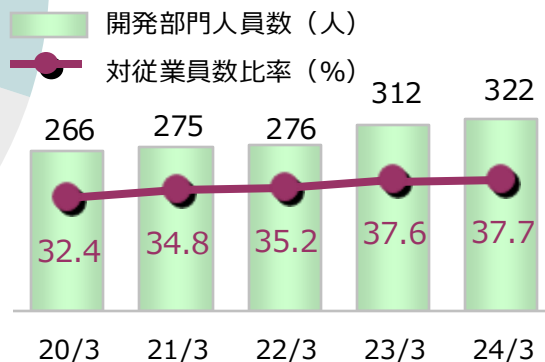
過去5年の製品リリース数

	SG	IP	TA	3D・FA	合計
2020/3	4	1	1	1	7
2021/3	2	0	3	2	7
2022/3	3	5	1	2	11
2023/3	1	0	1	0	2
2024/3	2	2	3	0	7
2025/3	1	1	2	0	4

積極的な開発投資



30%の人材を開発部門へ（単体ベース）



問題点

地球環境への負荷が大きい産業構造

石油産業に次ぐ量の温室効果ガスを排出し、水を大量に消費する産業

- ✓ アナログ捺染による大量生産、大量在庫、大量消費、大量廃棄
- ✓ 企画→生産→輸送→在庫→販売→利用→廃棄・焼却という長いサプライチェーン
- ✓ 世界全生産量の73%が廃棄・焼却、リサイクル率は12%、リユース率は3%以下※

Mimakiの**サステナブル・プリントソリューション**で環境負荷を大幅に低減

>> アナログ捺染の問題点をデジタル捺染で解決 <<

Mimaki 製品
×
サステナビリティ

「大量生産」から
デジタル・オン
デマンド印刷で
「適量生産」へ

Mimaki 技術
×
サステナビリティ

「廃棄・焼却」から
循環・再利用を
実現する技術で
「アップサイクル」へ

ネオクロマト・プロセス Neochromato Process

一度のイベント・シーズンで
廃棄or再生利用されていた
生地を再利用し循環させる
アップサイクル(創造的再利用)へ

技術の特長

- 昇華染料(昇華転写)により染色したポリエステル生地の脱色を実現
⇒ 新開発の薬液により**完全に脱色**
- 再生利用ではなく**アップサイクルを実現**
⇒ 脱色した生地に新たな図柄を印刷し
何度でも繰り返し利用可能
- アップサイクルにより、生地の生産・廃棄工程から発生する**CO2排出量を95%削減し工業排水も限りなくゼロに**
⇒ **サステナブルなテキスタイル産業を実現**



再印刷したタペストリー (池袋ロフト)



脱色による布地のアップサイクルイメージ

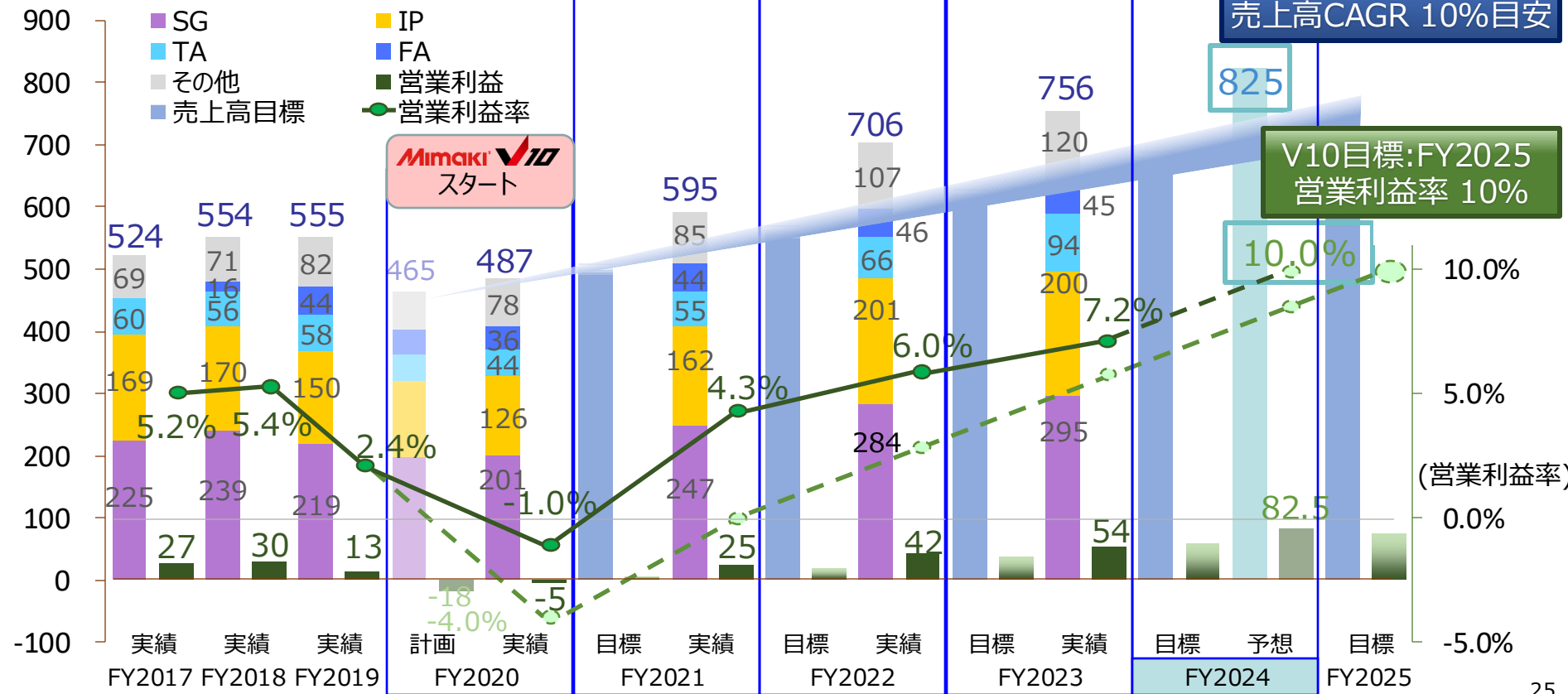
中長期成長戦略「Mimaki V10」の進捗



V10目標: FY2020-25
売上高CAGR 10%目安

V10目標: FY2025
営業利益率 10%

(単位: 億円)



「Mimaki V10」目標の達成による収益改善



基本的な 取り組み

資本収益性指標の分子である利益の水準を引き上げ、
資本コストと株価を意識した経営を実践する

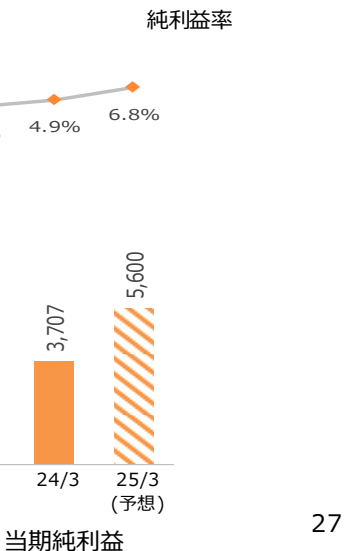
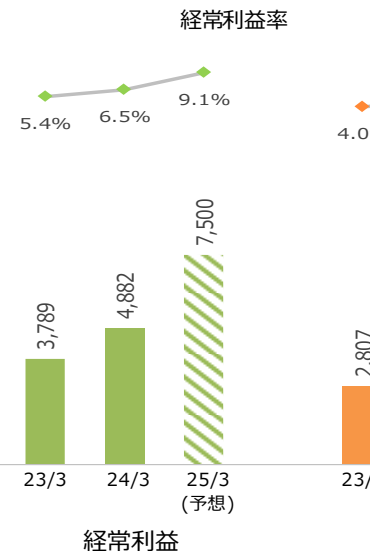
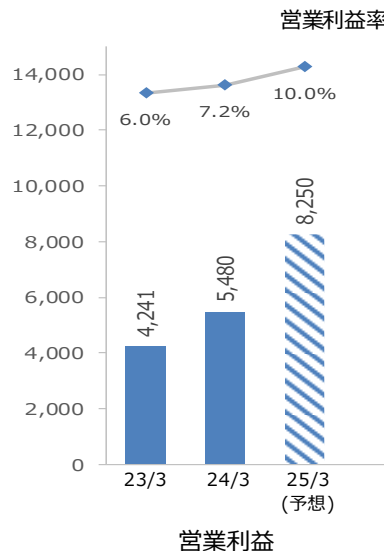
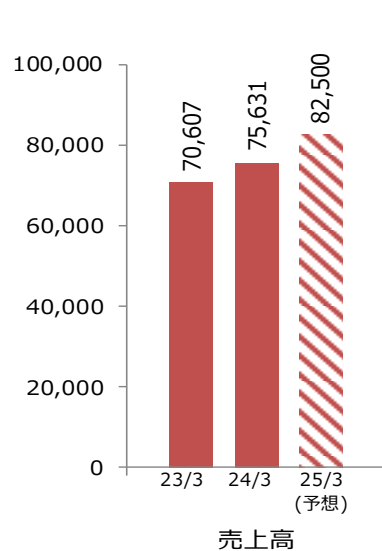
- ◆ 「Mimaki V10」方針：売上高成長を追求するだけでなく、高い収益を継続的に生み出すとともに、財務基盤を強化して、持続可能な成長に向けた強靱な企業基盤を構築したうえで、2025年度までに営業利益率10%を達成する ⇒ 2020～25年度売上高平均成長率(CAGR)10%を目安に、売上原価率・販管費率を改善し、営業利益率を向上させる

	FY2020 実績	FY2021 実績	FY2022 実績	FY2023 実績	FY2024 予想	FY2025 目標
売上高成長率	-12.3%	+22.1%	+18.6%	+7.1%	+9.1%	
売上原価率	61.8%	59.9%	59.7%	56.9%	⇒	FY2020-24 予想CAGR <u>+14.1%</u>
販売管理費率	39.3%	35.8%	34.3%	35.9%	⇒	
営業利益率	-1.0%	4.3%	6.0%	7.2%	10.0%	10.0%
ROE	-1.9%	13.5%	13.8%	15.1%	—	—
株主資本コスト (CAPM)		10%前後			—	—

連結業績予想ハイライト (2025年3月期)



(単位：百万円)	2024年3月期		2025年3月期								
	通期実績	売上高 比率	下期予想 (修正・差引)	売上高 比率	前年同期比 増減額	通期予想 (修正)	売上高 比率	前期比増減			前回予想比 増減額
								金額	率	率(除為替)	
■ 売上高	75,631	-	41,557	-	+1,363	82,500	-	+6,868	+9.1%	+8.7%	± 0
■ 営業利益	5,480	7.2%	3,551	8.5%	+402	8,250	10.0%	+2,769	+50.5%	-	+850
■ 経常利益	4,882	6.5%	3,178	7.6%	+311	7,500	9.1%	+2,617	+53.6%	-	+700
■ 親会社株主に帰属する 当期純利益	3,707	4.9%	2,349	5.7%	+54	5,600	6.8%	+1,892	+51.0%	-	+700
為替レート	米ドル	144.62円	138.00円	-	-10.25円	145.31円	-	+0.69円	+0.5%	-	+2.84円
(期中平均)	ユーロ	156.79円	150.00円	-	-10.20円	157.97円	-	+1.18円	+0.7%	-	+3.50円



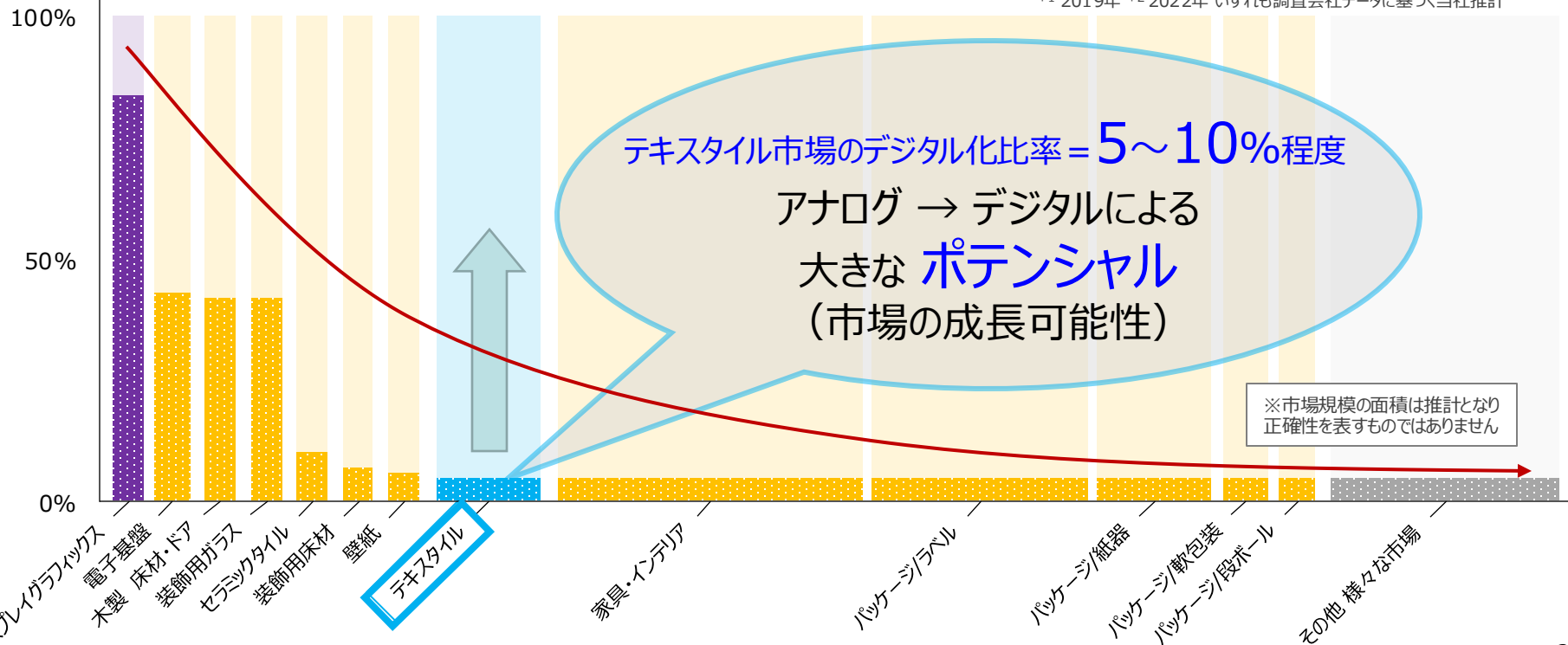
TA市場の成長ポテンシャル

マーケットサイズと
デジタル化*1

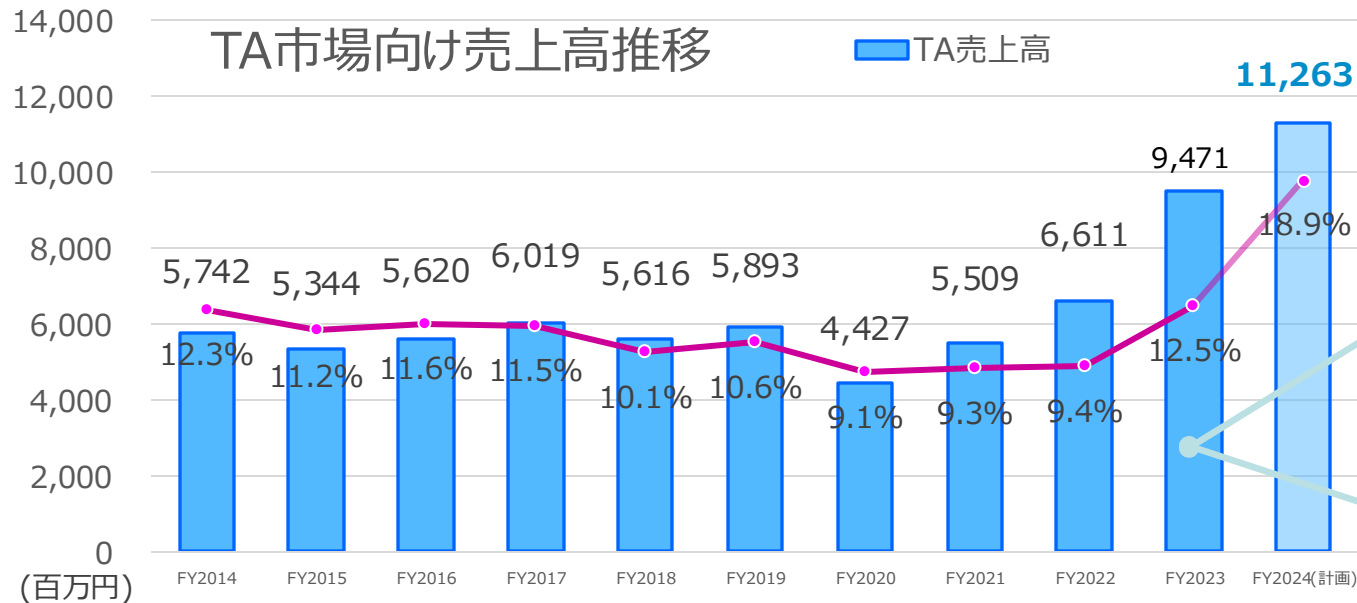
産業印刷のデジタル化は途上
(デジタル印刷世界市場:3.8兆円*2)

デジタル化の進展により
大幅な市場成長の可能性

*1 2019年 *2 2022年 いずれも調査会社データに基づく当社推計



TA市場向け売上高推移と今後の見通し



2024/9月 販売開始
本体価格:1,075万円(税別)



2024/9月 販売開始
本体価格:380万円(税別)

- 成長ポテンシャルが高いにもかかわらず、FY2019まで今一つ売上高を伸ばせなかった
- コロナ禍による市場変化を捉え、FY2020以降エントリー機、フラグシップ機の新製品で製品ラインナップを充実、FY2023はDTF機、高生産機により一気に売上高を伸ばし、100億円事業へ
- Mimakiのサステナブル・プリントソリューションで本体設置・稼働台数を伸ばせば、インクの販売も相乗的な伸長が獲得できるビジネスモデルのため、来期以降もより高い売上高成長を目標とする

弊社株価推移

— 移5週 — 移13週 — 移26週

【 当社の資本収益性* 】

PBR	1.34 倍
PER	8.04 倍
ROE	20.54 %

*2024/9月末時点 株価 1,365円 より算出



株主還元の方針

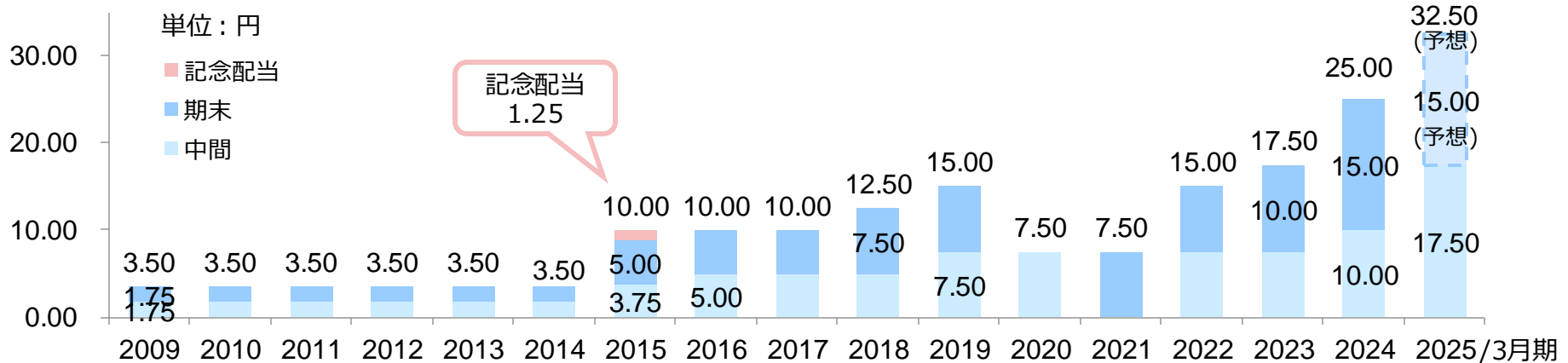
当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、業績の成長に見合った成果の配分を安定的かつ継続的に行っていくことを基本方針としています

■ 2024年3月期 中間：10.0円、 期末：15.0円

業績及び今後の事業見通し並びに安定的・継続的な株主還元方針等を総合的に勘案し、年25.0円に増配

■ 2025年3月期 中間：17.5円、 期末(予想)：15.0円

中間連結業績が前回予想を上回り、中間利益として過去最高を更新したことを踏まえ、中間配当を前回予想から2円50銭引き上げ、1株当たり17円50銭に修正



※ 2015年3月期の記念配当は東証一部上場に係るものです

※ 2015年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しています（分割前の配当金は遡及修正して表示）

本資料に関するお問合せ先

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

I R 部

TEL (本社) 0268(80)0058

TEL (東京) 03(3442)5035

E-mail mimaki-ir@mimaki.com

〔本資料お取扱い上のご注意〕

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング（以下、当社）を理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。